

牛尾山法嚴寺は七曲の上なまがりにあり、真言宗にして本尊は十一面觀音なり。天智天皇の御作、脇士けふしは不動ふどう、毘沙門天びしゃもんてん、又行叡居士ぎやうゑいこじ、延鎮法師えんちんはふしの像を安置す。天智帝の社やしろ神明社しんめいのあり。「不動瀧ふどうのたき、天狗杉てんぐすぎは鐘樓の傍にあり。黒泥巖こくでいがん、金生水きんしゆうすゐは堂前にあり。智証大師ちしようだいし此両品を以て紺帟金泥の曼陀羅まんだらを書写し給ふとぞ」

当時は、むかし延鎮沙門えんちんしゃもん音羽川ねはがわの水上を尋て行叡居士ぎやうゑいこじの沓くつを拾ひ、大悲の化現なる事ことを智さとせる靈場なり。「洛陽清水寺らくやうせいすゐじの縁起に委し、此沓くつ当寺たうじの什宝じつほうなり。古は伽藍がらん嚴重じゆうじゆうにして旧地は山上にあり」故に清水寺せいすゐじ奥院おくのゐんと称しける。